

# ほとけの 混和会だより

令和四年九月

東光院

仏の混和会

第162号

## 屍に向かいつつ 光ほたるかな

この歌は二十年ほど前、  
仏教の二泊三日の研修会で  
松原泰道老師様の講演を拝  
聴させて頂いた時、教えて頂  
いた歌です。

泰道老師様はこの時す  
でに九十歳を過ぎておられま  
したが私達に仏心を伝える  
為各地の講演に赴き精力的

に活動をしておられました。

講演が終わって参加者それ  
ぞれの宗教感について三分の発  
言の時間を頂き、私は「仏教は  
大自然の営みに生かされて居  
る事の感得と慈愛心を育む事  
かと思っております。よって今、  
檀信徒の皆様と農産物の栽培  
にいそしんでおります。」と発  
言しました。

すると懇親会の時松原泰道  
老師様は、私の所にビールを持  
つて来て下さり「それで良い、頑  
張りなさい」と声をかけて下さ  
りました。

御老師様はお亡くなりにな  
られて久しいのですが、昨今、  
その姿が度々思い出され、泰道  
老師様は今の私に何かを語り  
かけているようで、思わずこの  
書面に綴ってしまいました。

蛍の生涯ははかなく、そのほ  
とんどが水中と地中で過ごし  
晩年の数日の間、淡い光とも  
に大きく羽ばたき生涯を閉じ  
ます。

蛍の心中には「死」と言う概  
念は無いと思われれます。むしろ

永遠の命を生きたと言いついで  
自然の営みに身をゆだね、ある  
がままに生きています。

その姿は、未だ光を灯す事の  
出来ない今の私に「機は熟した、  
小さな光でも良い、灯しなさい」  
と語りかけているように思われ  
ました。

## 何時死ぬ 木の実はまいておく

この歌もその講演の中で紹介  
された歌で放浪の俳人、種田山  
頭火の歌と聞いております。

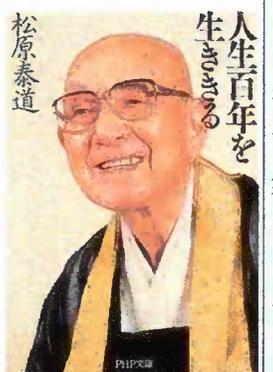
ここで言う木の実は、必ず  
しも実の成る木の種と言うこと  
ではありません。

人々の為に尽くす心や次世  
代の人々が紛争も災害も無く  
安心に満たされる環境の元に、  
みんな幸せに生きられるよう  
に願う仏心の種「善因の種」を  
蒔くと言うことであります。

その種は、世代を超えて大き  
く成長し、共に慈愛心を育み安  
心に満たされる環境が築かれる  
ものと思われれます。

正に、松原泰道老師様は、そ  
の時「木の實」を蒔いて下さった。  
その種を大きく育てるのが私に  
課せられた指名かと思えます。

人生百年を  
生ききる



松原泰道様の  
書籍より引用

## 「仏様の心」

仏様は、私達の理不尽な都  
合を満たしては下さりませぬ。  
地球上に生かされて居る様々  
な命は、大自然の営みの中で網  
の目の如く繋がりが合い共に生か  
されて居る。人類だけの都合で  
生きる事は不可能である。と説  
いておられます。

そして雨の恵み、風の恵み、  
太陽の恵み、この微妙なバランス  
の元に様々な生命が誕生し継  
承されて行く。この真理を仏様  
は様々な方便と慈愛心を持っ  
て私達を諭して下さります。  
昨今の異常気象や世界各地  
の大干ばつは、人類の不必要な  
貪りに仏様が警鐘を鳴らして  
居るようにも思われます。

よって自然の恵みを貪ること  
無く謙虚に敬い、又人々の命も  
あいまいな正義を旗印にそこな  
うことも無く、少しでも自然の  
営みに近い生き方が出来るよ  
う「自然との共生」この理解を  
深めて参りたいと存じます。  
合掌

亮観拝



人生は悟りを求めての旅 No.7



日本仏教に登場する仏様を毎号少しずつご紹介。今回は広島大仏を紹介します。

## ● 広島大仏

かつて広島県原爆ドームの隣に全身金箔に覆われた高さ約44・重さ四〇〇kgの阿弥陀如来が祀られていたのはご存じでしょうか。

鎌倉時代に山形県で作られた仏様ですが、明治の廃仏毀釈から逃れる為、一度解体されその後被爆から五年の年に原爆犠牲者の供養と、復興のシンボルとして修復が施され「広島大仏」と言う名で安置されました。ところが、原爆ドーム周辺に平和記念公園が作られる事となり、祀られていた寺院も移転されるなど混乱の末、大仏の所在が解らなくなりました。



しかし、いまでも忘れ去られてしまいましたが、この大仏が成ったのは、そのころから

半世紀以上が経った平成三年の事でした。

偶然被爆後の広島市内の写真を目にしていた奈良県極楽寺の田中住職はそこに移る大仏が先代住職が骨董店から購入した寺の仏像と似ている事に気が付き、専門家に調査を依頼すると広島大仏である事が判明致しました。

調査を進めるうちに広島大仏に込められた平和への願いを感じ取り「いつか里帰りさせたい」と思い、大勢の協力と長い年月を得て六七年ぶりに、原爆ドーム隣「おりづるタワー」に里帰りを果たし、先日七月一日には県内の僧侶が宗派を超え大勢集い平和への願いを込め法要が営まれました。

田中住職は「平和というの作って行かなければならぬ。あくまでも仏様は道を作って頂ける。歩いて行かなければならないのは私達。」と話されておりました。

このニュースを見た時戦争の脅威が身近に感じる今、広島に帰れた事に大仏様からの何かしらのメッセージ性を感じました。

戦争で涙を流す人がいない世の中になりません様に……



**仏教 × SDGs**

コードレッド  
人類存続の緊急事態

## 「自然との共生」

コードレッド「緊急事態」

気候変動と食糧危機、必要以上に危機感を煽ってもいけません。私自身も人ごとと思わず、左記を目標に出来ることから活動して参りたいと存じます。

一、温暖化による異常気象の中で世間の価値観に翻弄されない生き方を見いだす。

二、自然の営みを外れて生きる事は出来ない事を学び

「自然との共生」に勤める。

三、農産物の栽培を持って、

人と人との共生を深める

四、「SDGs」少しでも、荒廃する農地を守り豊かな環境を

次世代に伝える。

【応援お願いします】

現在、そば、大豆、小麦、落花生、サツマイモ、各種野菜を栽培しております。

又、農産物の栽培を共に

楽しんで頂けたら

大変嬉しく存じます。

関心を抱いて下さる方は

下記まで、応援メール

お願いします。

御園生亮観

ほとけのさいえん アウトルツク コム hotokenosaien@outlook.com